

今月の

asten Bookshelf



vol.
02

春の訪れまではまだ日がありそう。
長い夜を楽しむなら読書。今回も2冊紹介します。

01

“嫁だけ我慢”はもうやめた！



ある晩、夫が急死した。嫁を卒業できると思いきや、舅姑（きゅうこ）や謎の女が思惑を抱えて次々押し寄せる。“愛人”への送金、墓問題、介護の重圧…がんじがらめの夏葉子の日々を変えたのは、意外な人物と姻族関係終了届!? 婚姻の枷（かせ）に苦しむすべての人へ。

夫の墓には入りません

発行:中央公論新社 680円+税

著:垣谷美雨

文庫版352P

02

早逝の作家が残したラブストーリー



30万部突破の大ヒットとなった三島市出身の小坂流加の恋愛小説「余命10年」。作者はその刊行を待つことなく病のため帰らぬ人となったが、彼女には遺作があった。「生きていれば。恋だって始められる」。作家の強い思いが込められた奇跡のラブストーリー。

生きてさえいれば

発行:文芸社(文芸社文庫NEO) 620円+税

著:小坂流加

文庫版352P